

「北斗市教育大綱」の策定にかかるパブリックコメント手続の実施結果について

No.	意見等の概要	市の考え方
1	<p>・地域と学校の連携、子ども会活動について</p> <p>町内会など学校と地域との連携とよく言われますが、具体的にはどのようなことを考えられているのでしょうか。地域での教育のあり方について、もう少し具体的に触れていただけるとありがたいと思います。そのためにも、学校教育における子ども会の位置付けや「地域での子ども会」の現状や「学童保育」の現状についても議論をされてはどうでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>大綱という考え方から具体的に明記いたしませんでしたが、地域と学校の連携につきましては、現状においても登下校時における街頭指導や、防犯活動における子ども110番の家の登録、地域のお祭り等への参加など各種のご協力をいただいております。</p> <p>今後におきましては、更なる連携を深めていくために、学校内に地域連絡協議会を設置し、町内会・老人クラブ・民生委員等をメンバーとして学校運営における意見を広く取り入れ、学校活動への関心度を高めてもらうことが必要と考えております。このため、学校側から積極的に地域と関わり、地域におけるふるさと教育の面で、外部講師としての参加を募るなど双方の協力の基で地域と学校の活動が活発化することを願っています。また、子ども会活動等につきましても地域の現状を踏まえ、課題の解決に向け議論させていただきたいと考えております。</p>
2	<p>・「ほくと学ジュニア検定」について</p> <p>足下を掘る。地域の自然や歴史・文化を知ることが大事なことと思います。防災の面からも大事です。</p> <p>検定問題は非公開となっていますが、公開にしても良いかと思えます。地域学習は大人の方々も興味を持つものと思えます。親子での学習、その場所に行ってみることも良いことです。また、学習を通じて親子の会話も生まれます。フィールドワークの場所として、観光地の他、道南農業試験場、サケ・マスふ化場、茂辺地森林体験の森など沢山あります。検定を軸として、地域学習の推進をしていただきたいと思います。</p> <p>また、地域は変化します。郷土読本の改訂などにも取り組まれることをお願い致します。</p>	<p>ほくと学ジュニア検定につきましては、平成27年度から始めた事業で、小学3年生に配布している社会科副読本を題材に出題しています。</p> <p>次年度以降の実施に向けて、ご意見も一つの方法と考えておりますので、今後の研究課題とさせていただきます。また、副読本の改定は平成28年度に改定することとしております。</p>

意見提出者数	1名（2件）
意見等を考慮した結果の修正案	意見による修正はありません
お問い合わせ先	総務部企画財政課 電話 0138-73-3111 内線234 FAX 0138-73-6970 e-mail kikaku@city.hokuto.hokkaido.jp